

学校教育目標	「高め合おう つながろう 未来をつくる元石川の子」				
	《知》 進んで問題に取り組み、解決し、学ぶ楽しさや喜びを感じる力を育てます。 《徳》 自分も人も大切にできるやさしさと勇気を育てます。 《体》 自他の命を大切に、心身ともにたくましく生きる力を育てます。 《公》 家庭や学校、地域での自分の役割を理解し、他者と協働する心を育てます。 《開》 多様な人とのつながりを大切に、社会の変化に対応できる力を育てます。				
学校概要	創立 45 周年	学校長 鈴木 彰	副校長 松久保 伸子	2 学期制	一般学級：13 個別支援学級：2
	児童生徒数： 398 人	主な関係校：山内中学校			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<問題発見・解決能力> <人とかかわり・コミュニケーション能力>	山内中学校 山内小学校 新石川小学校 美しが丘西小学校	・思いやりや感謝の気持ちを持ち、互いに尊重し合って生活できる子ども ・豊かに学び合い、社会の一員として自ら判断し、責任をもって行動できる子ども ・示中双方の公開授業を参観し合い、義務教育9年間を通して豊かな学びを実現する。 ・小中合同街頭募金等を実施し、思いやりや感謝の心をはぐむ。 ・中学校ブロックの職員全員が参加する人権研修を開催して教師自身の人権感覚を磨き、互いに尊重し合って生活できる子どもの育成に努める。

中期取組目標	「PLAYERS FIRST!」を合言葉に、子どもを大切にし主役として位置づけ、誰もが生き生きと成長する学校にします。 ・進んで問題に取り組み、解決し、「できた」「わかった」と子どもが実感する授業を構築します。 ・子どもの気持ちを考え、子どもに寄り添う指導を心がけます。 ・保護者や地域とつながり、様々な学びの環境を教育に生かします。 ・教師自身も成長し続ける職場を目指し、チームで子どもたちを育てます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①学力学習状況調査を詳細に分析し、各学年で定着している事項や定着していない事項を洗い出す。その結果を基に実態に応じた手立てを各学年で考え、1年間継続して指導していく。 ②「できた」「わかった」と子どもが実感する授業を構築する。
豊かな心	①道徳、学級活動、全校朝会、人権週間を使い、他者と自分を大切にすることを理解し実践できるように意図的に授業や活動を行っていく。 ②1年間を通して縦割り集会を行うとともに、年間3回縦割り給食を行い異年齢同士のつながりを強化し他者を思いやる気持ちを育てる。
健やかな体	①学校保健委員会で1年間のテーマを決め、そのテーマに沿って各クラスで具体的な取組を決めて健康な体作りを行う。 ②縄跳びやボール運動を取り上げ、学校全体の目標記録を設定した縄跳び大会や元小オリンピックを実施し、体力の向上に励む。
人権教育	①誰もが安心して学校生活が送れるよう、定期的に児童からアンケートを取ると共に担任と児童との個人面談を行い、常に児童の実態把握に努める。特に「いじめ」は絶対に許さないという指導を重視する。 ②人権週間には外部の講師を招き、直接話を聞いたり、体験的な学習を行ったりする。
特別支援教育	①学習のユニバーサルデザイン化、YPアセスメントや個別の支援計画の作成、特別支援教育研修等を通して、支援や指導の充実を図る。 ②特別支援校内委員会を活用し、配慮を要する児童に寄り添ったきめ細かい対応を進める。
児童指導	①「元小スタンダード」に基づいて全職員が共通した指導を行う。 ②トラブルを未然に防ぐためにきめ細かい行動観察を行う。毎週の打ち合わせで児童の様子を共有化し、翌日の教務会で対応協議し、いじめ防止対策委員会を開催するなど、3段階の児童指導対応体制を構築する。
保護者・地域連携	①積極的に学校から、学校だよりや学校ホームページ、学級だより等で情報発信を行う。 ②公的機関や企業等の出前授業等を取り入れ、学校外の人材と連携して豊かな教育活動を推進する。
学校運営協議会	①年7回の会議を開催し、授業参観や行事参観等も通して学校が抱える課題を情報共有し、学校にとって有効なご支援をいただき地域と共に学校づくりを行っていく。 ②地域連携担当を協議会内に位置づけて学校と家庭・地域が連携し、共に充実した活動を創造していく。
いじめへの対応	①いじめ防止のために児童へのアンケートを複数回行い、実態把握に努める。面談も実施する。 ②いじめが起きた場合は、チームとして迅速に対応し毅然とした態度で指導する。保護者との連携もと、家庭と学校で共通した認識のもと解決を図る。
人材育成・組織運営(働き方改革)	①校務分掌を大きく3つのプロジェクトチームにまとめ、小規模校でもチームで取り組める組織体制をつくる。 ②キャリアステージに応じた授業研究会や研修会に参加し自ら教師力向上に努める。 ③教員免許を要しない仕事は職員室アシスタントの活用、業者委託などで業務改善を図り、定時退勤日に設定したり、留守番電話設定をしたりするなど、業務に集中できる環境を整える。